

令和8年

市長新年挨拶

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、新年を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、私にとって初めて、1年を通しての市政運営となり、市民の皆さんと約束いたしました「選ばれるまち苫小牧」の実現に向け、立ち止まることなく挑戦を続けてまいりました。

その中でも、昨年4月から選ばれるまちプロジェクトとして展開している「こどもまんなかアクション」では、小学校入学祝い給付事業や著名人による親子トークショーを実施したほか、「こどもまんなか応援サポーター」の募集・紹介などを通し、まちぐるみで子どもや子育て中の方々を支える機運を醸成してまいりました。子どもたちが健やかに育ち、夢を追いかけられる環境こそが、苫小牧の未来を創る原動力です。本年も、子ども一人ひとりの成長をまち全体で支え、「こどもまんなかのまち」の実現に向けて着実に歩みを進めてまいります。

令和7年は、北海道日本ハムファイターズの2軍施設誘致に向けて取り組みを進めてまいりました。9月には苫小牧商工会議所を中心とした東胆振1市4町の関係団体による「北海道日本ハムファイターズ2軍施設を誘致する会」が発足し、現在も胆振・日高地域が広域的に連携した誘致活動を力強く展開しています。行政としても、この熱意を余すことなく球団に届け、2軍施設誘致の実現に向けてチャレンジしてまいります。

さらに経済面では、Rapidus株式会社による次世代半導体の試作成功や、ソフトバンク株式会社による大規模データセンターの建設開始、苫東地域の工業用地分譲などによる売上が過去最高を記録するなど、本市の更なる発展に期待が膨らむ年でもありました。この好機を最大限に生かすため、企業誘致に向けた積極的なトップセールスや既存企業のフォローアップとともに、次世代産業を支える人材の育成と、働く世代をはじめ全市民が安心して生活できる居住環境の整備を加速させてまいります。